

告示番号 73 疾患群 神経・筋疾患

疾病名	脳動静脈奇形
-----	--------

#### 概念・定義

大小様々な異常動静脈間に直接吻合があり、異常な血管塊（ナイダス）がある。毛細血管が欠損しており、動脈血は直接静脈系に移行する。

#### 臨床症状

50%が出血で、20～25%がてんかん発作で発症する。頭痛、耳鳴、その他の脳局所症状などの例もある。無症候性例も多く、画像検査により偶発的に発見されることもある。

未出血例の年間出血率が1～3%にみられ、出血例では出血から1年間の再出血率は6～18%である。出血時の死亡率は10%、その他出血の部位とサイズにより意識障害、高次脳機能障害、麻痺や半盲などの局所神経欠落症状を呈する。

てんかん発作は出血例の23%、未出血例の8%に認める。発作型は様々である。

大きいナイダスに脳血流を奪われること（盗血減少）により、頭痛や意識障害、局所症状を起こすことがある。

静脈還流障害により頭蓋内圧亢進症状を来す例がある。

#### 治療

脳動静脈奇形摘出術（K172）

脳血管内手術（K178）

直線加速器による放射線治療 定位放射線治療（M001-3-1）

いずれも保険診療内で行える。